

第5学年 社会科授業実践

1 単元名 米づくりのさかんな地域

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 食料生産にかかわる人々は、生産や品質を高めるよう努力したり販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費者に届けていることを理解している。 地図帳や各種の資料で調べ、まとめている 	<ul style="list-style-type: none"> 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、興味を持ったことを、自分なりの方法で調べようとしている。 日本や地域の農業の諸課題を自分事としてとらえ、その解決に向け問い続けようとしている。

3 教材のとらえ

本単元では、農業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して学んでいく。第3学年でも生産の仕事について学んできているが、そこでは地域の農産物を生産する仕事を通して地域社会に対する理解を深めることに、第5学年では我が国の農業について理解を深めることに、それぞれのねらいがあるため、まず、日本で最も米作りがさかんな新潟に焦点を当てて学習を進めていく。その中で、自然条件を生かして稲作が行われていること、生産量を高めるために生産者が工夫や努力をしていること、こうした米作りがさかんな地域のおかげで日本の食が支えられていることなどを学ぶ。そして最終的に日本の米作りがかかえる課題をとらえ、その解決のために何ができるのかを考えていくが、「日本」というマクロな視点では、子ども達の世界とかけ離れているので、自分事にすることが難しいと予想される。そこで、地元で米作りを行っている「農業法人〇社」を材として扱い、「Kさん」の営みを通して米作りがかかえる課題をとらえ、身近なところからその解決方法を考えていきたい。そして「小田原」というミクロから「日本」というマクロへ、もう一度視野を広げて、「日本全体の問題も自分たちの問題である」という当事者意識を育てたい。



4 本時の指導

本時の目標 「小田原市では米の作付面積がどんどん減っているのに、なぜ農業法人〇社では増えているのか、各種資料をもとに考えることができる」

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 前時までの学びを振り返る	○日本全体の米作りにおける問題点が小田原市にも当てはまっていることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 小田原市では米の作付面積がどんどん減っているのに、なぜ農業法人〇社では増えているの？ </div>	
2. 自分の考えを表出する <ul style="list-style-type: none"> ・農地を増やせば生産量が増えてもうかるからじゃない？ ・はるみは特Aを取るぐらいおいしい米だから、お客さんにすぐ売れるから、たくさん作りたいのかも。 ・金次郎米のおいしさを知ってほしいから、たくさん作って、たくさん売りたいのかもしれない。 ・経営農地が減っているということは、耕作放棄地も増えているはずだから、その土地を買っているのかも。 ・金次郎米には「金次郎先生のように、地域農業に貢献したい」という思いがあるから、土地を広げてたくさん生産しようとしているのかもしれない。 ・Kさんの紹介記事に、小田原の田園風景の美しさに感動したと書いてあるから、この土地を守りたいのかも。 3. 農業法人〇社で米作りをしているKさんの資料を読み、気づきや思いを共有する <ul style="list-style-type: none"> ・小田原市では、農家の方が高齢化しているところか、どんどん亡くなってしまっているんだね…。 ・管理できなくなってしまった土地を預かっているから、作付面積が増えているんだね。 ・Kさんたちは、この地域を守りたいという気持ちがとても強いんだと分かった。 ・自分たちの住む地域に、これだけ頑張って米作りをしている人がいるなんて知らなかった。 ・今まで考えたことがなかったけど、何百年も前からある農地と聞いて、とても大切に思った。 ・僕もこの地域の美しい景色が好きだから、地元の農地が絶対になくなってほしくない。 4. 新たな問いを見出し、次時につなげる。	○問いの確認をする。 ○自分の考えの根拠を示しながら発言することを促す。 ○生産者・消費者・(行政)などの立場などから、意見を整理して板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【思考・判断・表現】 農業法人〇社の作付け面積が増えている理由について各種資料をもとに自分なりに考えている。(発言・ノート) </div> ○管理する農地が増えているのは「先輩たちがどんどん亡くなっているからです」という一言をピックアップし、小田原の農業への問題意識を高める。 ○教師が資料を音読し、気になったところや心に響いたところなどに線を引かせる。 ○「100年経っても、この農地は残したい。でもこのままではいつかなくなってしまiumかもしれない…」という言葉をピックアップすることで、今後の米作りを考えていくような新たな問いにつなげたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これからもこの地域の田んぼを守っていくには、どうしたらいいんだろう？ </div>	
	○振り返り・問いに対する考えを書かせる